

最新モデルのマシニングセンター導入による攻めの経営への転換

当社は、主に、製鋼圧延機械設備用の部品や装置の製造、改造加工および修理などを行っています。平成28年度ものづくり補助事業を活用して最新のマシニングセンターを導入し、既存ユーザーへの販売強化や新規開拓による受注増による攻めの経営への転換を目指しています。

事業取り組みの経緯

当社は、先代社長の黒田 満が1972年に大阪製鐵西日本熊本工場の100%下請けとして創業しました。14年前に先代が亡くなり、会社を引き継ぎましたが、その後、しばらくは守りの経営が続き、売上も少しずつ減少していきました。この3、4年で社員の若返りが進んだため、意を決して、新しいマシニングセンターを導入し、守りから攻めの経営へと大きくかじを切ることにしました。



平成29年度同補助事業で導入した複合加工機

実施内容

同社が導入したマシニングセンターは、OKK製最新式マシニングセンターVM76Rです。この装置は、高圧で切削液を噴射する独自機能や、高トルクで切削加工を行うパワフルな高剛性マシニングセンターです。ステンレスなど難削材加工に威力を発揮します。現在でも大阪製鐵西日本熊本工場の売上比率は7、8割を占めており、切っても切れない関係が続いていますが、今後は、同工場の受注拡大を図る一方で、地元企業にターゲットを絞り、新規開拓を積極的に行う考えです。

事業取り組みの成果

一番大きな成果は、リードタイムの短縮です。今までの加工工程では、古いマシニングセンター2台を併用していましたが、新しいマシニングセンターは1台で荒加工から



補助金活用のポイント！

顧客の多くは製造ラインを持つ事業所です。保守、メンテナンスから一品モノの専用部品製造や特急品にも対応します。レスポンスの速さと小回りが利く柔軟さが自慢です。新しい設備導入で対応力の強化をさらに推進します。



盤機を導入し、時代の求めるスピード、コスト対応を目指しています。

求める事業パートナー及び支援策

最近では、産業機械関連のみならず食品機械関連の顧客からの相談案件も増えています。ものづくり補助事業のおかげで、事業拡大を悩んでいるときに背中を押してもらえました。これからも積極的に活用したいと思います。

「どんなに難しい要望にも対応する」が創業当初からのモットー。今後も新規の顧客開拓とビジネスチャンス拡大を進めます。

仕上げ加工まで完了するため、約40%のリードタイム短縮につながりました。高圧で切削液を噴射するスピンドルスルークーラント機能は大径深穴加工において約20%の時間短縮が実現でき、刃物の交換頻度を低減し加工面粗度や完成品精度も向上しました。さらに、平成29年度同補助金で複合加工機、自社購入でNC複合旋



NC複合旋盤機

COMPANY PROFILE

有限会社 黒田工業

代表者名 代表取締役社長 黒田 一祥
設立年月 1989年1月
所在地 〒869-0413 熊本県宇土市花園町西原 2053-1
TEL 0964-22-4034
FAX 0964-22-2144
URL なし
資本金額 300万円
従業員数 10人
業種 はん用機械器具製造業



代表取締役社長
黒田 一祥さん

平成28年度ものづくり補助事業で導入した立型マシニングセンター